

首都圏北部4大学(4U)
第4回産学官連携事例講演会
2013年2月21日

宇都宮大学における 産官学連携によるグローバル人材育成 と外国人留学生の就職支援の取組み

宇都宮大学

キャリア教育・就職支援センター

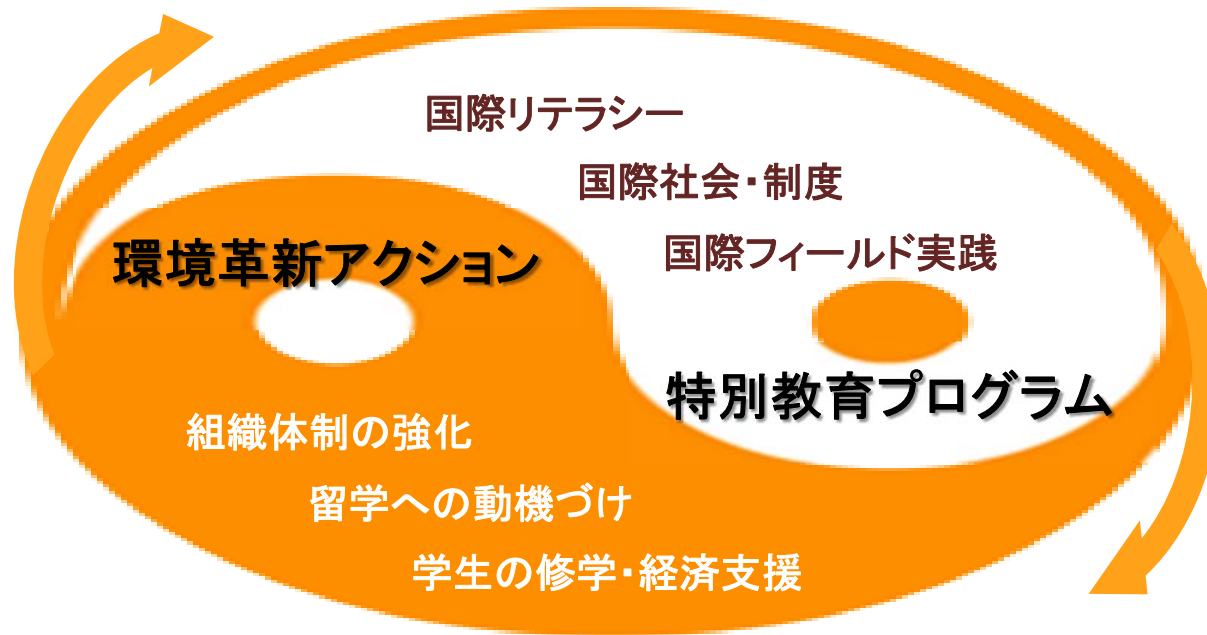
末廣 啓子

構想の概要

Human Assets for Globalization

「地域からのグローバル化」と「地域のグローバル化」

With a Global Mind



持続的なグローバル人材の育成と地域貢献





構想の目的

先進国・大企業・大都市からの視点に加え、

**発展途上国, スモール, 弱者, といった「地域からの視点」を持ち
複眼的思考に基づいて創造的で能動的な行動ができる人材を育成**



育成するグローバル人材像

	地域からのグローバル化	地域のグローバル化
日本人学生*	<ul style="list-style-type: none">・国際的&創造的なチャレンジ精神・地域社会・経済の発展に寄与	<ul style="list-style-type: none">・国際的な異文化を理解・多文化共生社会の形成に寄与
留学生	<ul style="list-style-type: none">・日本の良さ・強みを理解・地域経済や母国の発展に寄与	<ul style="list-style-type: none">・日本の社会・経済・文化を理解・多文化共生社会の形成に寄与

*日本で初等・中等教育を受けた外国籍の大学生も含まれる



教育プログラムの構成と内容

グローバル人材育成特別教育プログラム

国際リテラシー
分野

(11科目)

国際社会・制度
分野

(18科目)

国際フィールド実践
分野

(6科目)

3分野で構成される科目群から所定の単位を取得

GPA・TOEICによる教育プログラムの質保証

【授業科目】

- A Advanced English II
- A Advanced English III
- A Honors English
- A Honors Camp
- A English for Academic Purposes
- A 多言語コミュニケーション学

- C 日本文化論
- E 比較文化論
- F ジェンダー論
- C 異文化間コミュニケーション
- C アジア近現代思想論

【授業科目】

- B 現代日本社会論
- B 国際機構論
- F ボランティアという生き方
- F 国際人権法

- B グローバル・ガバナンス概論
- F 環境と国際協力
- E 国際社会論

- B International Relations
- D International Economics
- D The Front Line of International Business
- D 企業のグローバル戦略とキャリア形成
- D 国際金融論

- B ものづくり体験
- F グローバル化と外国人児童生徒教育
- B 農業と環境の科学
- E 移民と多文化教育

【授業科目】

- B 国際キャリア開発基礎
- D 国際キャリア開発特論
- A 国際実務英語

- A 外国語臨地演習
- D 国際インターンシップ
- B 国際連携実習

- A 英語の運用能力 (8)
- B 社会人としての基礎力 (8)
- C 異文化の理解力・活用力 (3)
- D 地域経済活性化を担う力 (8)
- E 多文化共生地域をつくる力 (3)
- F 弱者の視点に立つ力 (5)

宇都宮大学のキャリア形成支援

平成19年1月

キャリア教育・就職支援センター発足

●4年一貫のキャリア教育

新入生からの体系的実施。

●手厚い就職支援

個別相談の充実

3年生からを中心に多様で多頻度の就職ガイダンス・
セミナーの実施 未内定者への手厚いフォロー

●4年一貫のキャリア教育

キャリア教育への取り組みとは、教育本来の役割。教育そのもの。キャリアセンターだけが実施するのはなく、各学部の中でいかにキャリア教育を推進するかが大きな課題

- ①個々の専門分野の学問が社会の中でどう位置づけられているのか、どう貢献しているのか・しうるのか、その分野で学んだ人の生き様、働き方はどうかを学生に示す
- ②担任教員による個々の学生指導(進路・履修相談)

(将来の職業や進路選択に関する動機付け・方向付けは、まさに、学びへの動機付け)

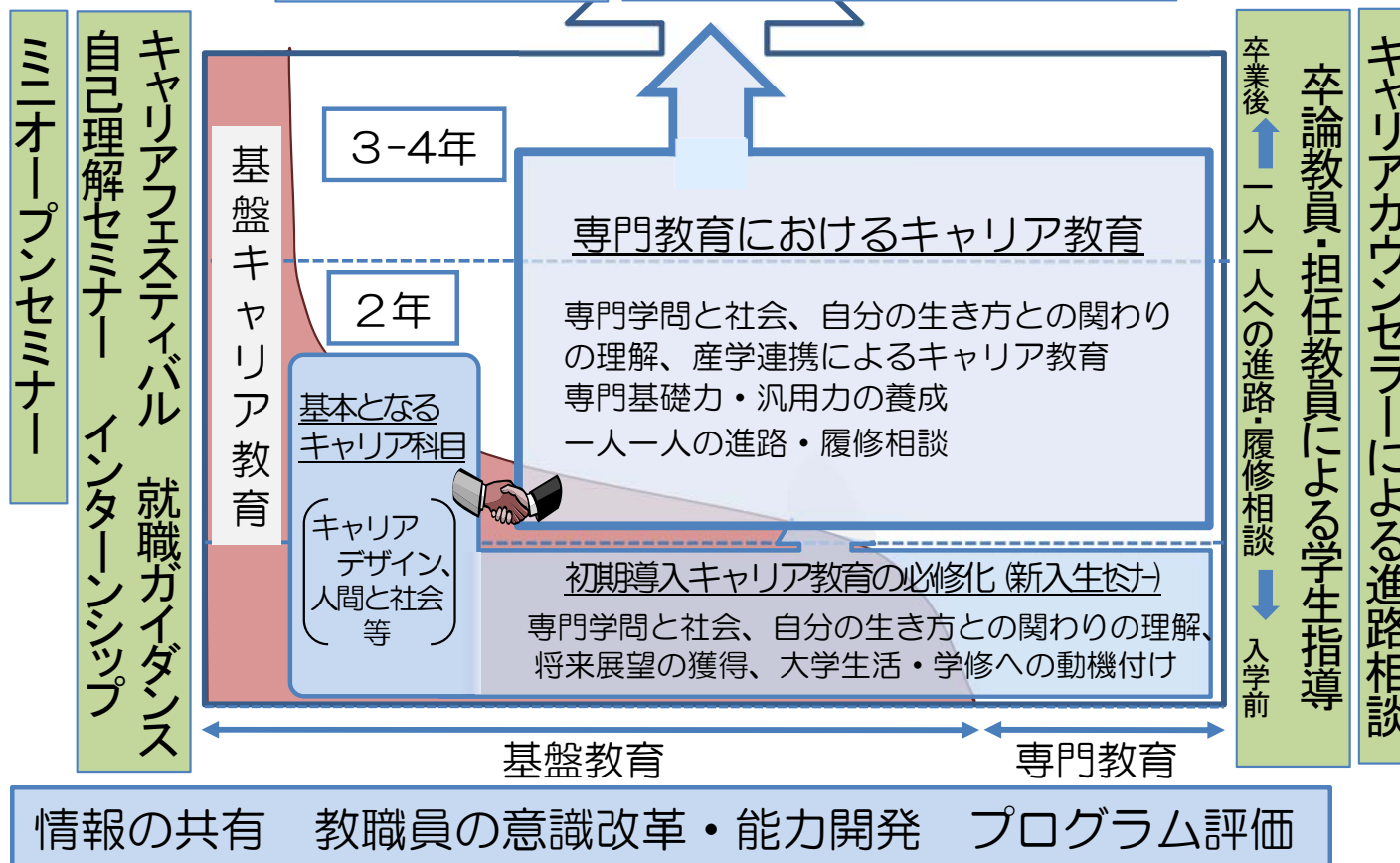
宇都宮大学の4年一貫キャリア教育の実践

未来を切り拓く人材

- 変化の時代に主体的にキャリア形成
- 社会人・職業人として自立し社会貢献

判断力 主体性 行動力 広い視野

正しい現実認識 専門的実践的な知識・技術



全学レベルの基盤教育改革との連動 (2010)

全学の共通教育改革の中で、
キャリア教育の位置づけの明確化と、
大学としての「4年一貫キャリア教育」実施の
明確化

新規)各学部での導入キャリア教育の必修化
ただし、当面は学科ごとの初期導入科目の中に
2コマ導入キャリア教育を必置 (23年度から)

キャリア教育・就職支援センター

キャリア教育・就職支援センターによるサポート

→社会を知る
→職業を知る
→自分を知る

→就職ガイダンス
→就職情報提供

1年次

2年次

3年次

4年次

1. キャリア教育授業（「人間と社会」「キャリアデザイン」など）

2. 進路・就職相談（毎日相談が行える体制）

3. 全学プログラム行事（「キャリアフェスティバル」「学生支援プロジェクト」）

4. インターンシップ

5. 就職ガイダンス・セミナー

6. 就職情報の提供

自分の目指す生き方・進路・就職

<宇都宮大学キャリア教育・就職支援の基本的な姿勢・特徴と産業連携>

- ①キャリア教育の基本的な考え方；生き生きとした現実、圧倒的な事実を知らせ、見せ、触れさせ、感じさせることを重視（正しい現実理解、広い視野、主体性、起業家精神の獲得）

・自分が生きている、生きていく社会への関心を持ち、働き方・働かせ方の実態、働く人の思い、職業等を理解することが基本。そこから、自分を知り、感じ、考える

授業や「キャリアフェスティバル」等の形で、産業界と連携して対応

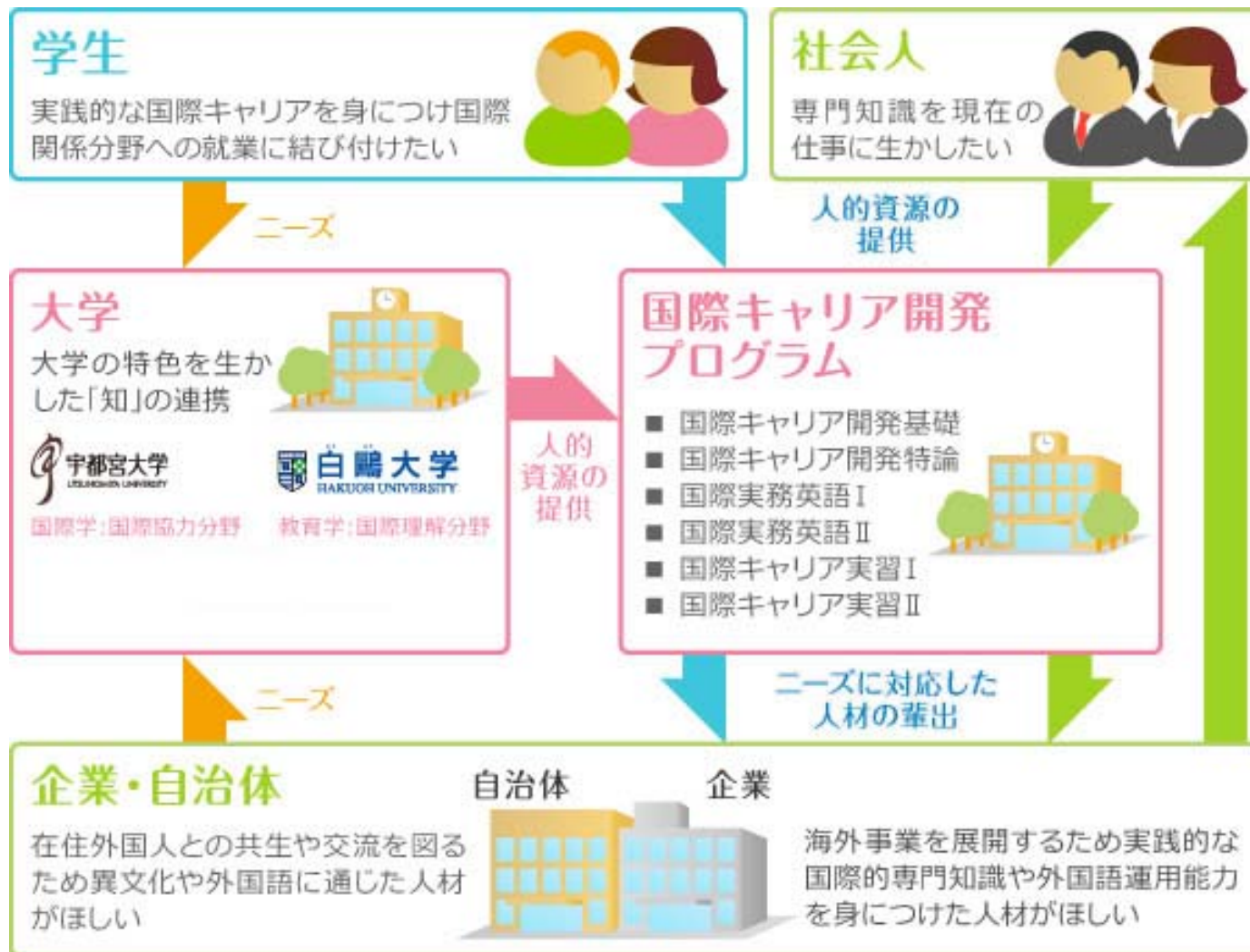
- ・経済、企業経営の動向、産業・職業、働き方の多様化等働くことに関わる問題の正確な認識、
- ・身を守る術としての労働法など法制度・対策、労働組合等の理解、
- ・どういう生き方、働き方をするのかなどの自己理解
(講義や演習のほかに、生身の職業人との直接対話、企業の責任者による業界・企業経営の方向についてのシンポジウム、フリーターへのインタビュー、キャリアモデルへのインタビューとグループ討議・発表での共有等により)

② 地元発展企業と学生とのパイプ役として；県の産業振興政策と連携して、企業説明会に地元の発展業種の企業ブースを設定、授業や行事に必ず地元企業を招へい、産学交流の場の設定、インターンシップ等

国際キャリア開発プログラム①

国際キャリア開発プログラムとは？

地域の大学・産業界の人的資源を有効活用することにより、国際的専門知識、外国語運用能力、国際的実務能力を身につける実践的な国際キャリア教育を実施し、地域企業や自治体の国際化ニーズに応える人材を育成する事業です。



国際キャリア開発プログラム②

国際キャリア開発基礎

国際キャリア開発特論



—国際分野で働くこととは—

国際的な分野の第一線で活躍する講師を招き、国際的な仕事の意義や面白さを学ぶ。
テーマ別分科会では仕事の実状や必要な能力等をワークショップやディスカッションを通して学び、自己のキャリアパスを考える。

(H23年度参加者数)

宇都宮大学29名、白鷗大学40名、作新学院大学4名、
外16大学21名、高校生・社会人等3名、計97名

—問題解決能力を身につける—

国際的な分野で仕事をするための専門的知識と実務能力の向上に向け、第一線で活躍する講師を招き、演習を通して高度な専門知識や技能、仕事への姿勢を学び、国際キャリアの具体化を目指す。

(H23年度参加者数)

宇都宮大学12名、白鷗大学9名、大東文化大学7名、
前橋国際大学7名、外14大学16名、社会人1名、計54名

国際キャリア開発プログラム③

国際実務英語 I

—英語で世界とつながろう—

英語で学ぶ国際キャリア

(English Camp I)

国際協力、国際ビジネス・観光業や国際交流活動などで活躍できる実践的な英語運用能力を身につける。自分の意見を伝える表現力や異文化の中で働くためのコミュニケーションスキルの向上を目指す。

(H23年度参加者数)

宇都宮大学15名、白鷗大学17名、日本大学4名、
外6大学6名、その他1名、計43名

国際実務英語 II

—世界で通じる即戦力の英語力を—

英語で学ぶ国際キャリア

(English Camp II)

国際分野の専門知識やグローバルな課題を英語で学ぶことで、実務に密接に関わる英語能力を身につける。第一線で活躍する講師より、各テーマや仕事の背景や技能を学び、課題を話し合いながら解決策を考える。国際分野で活躍するための実践的な英語能力の習得を目指す。

(H23年度参加者数)

宇都宮大学6名、外16大学16名、その他9名、
計31名

国際キャリア実習Ⅱ

国際キャリア実習Ⅰ

—実践で使える実務能力を—
国内でのインターンシップ
国際ビジネスや国際協力、国際交流活動・観光業などで活躍することを目指し、国内の企業、NGO、公的機関、地方自治体、国際機関などでインターンを経験して、実務能力を高める。

(H23年度参加者数)

宇都宮大学4名、作新学院大学4名、白鷗大学8名、計16名

(H23年度実習先)

JTB関東 法人営業宇都宮支店、那須烏山観光協会、
小山市国際交流協会、外7機関、
計10機関

国際キャリア実習Ⅱ

—国際キャリアの第一歩を築く—
海外でのインターンシップ
国際ビジネスや国際協力、国際交流活動・観光業などで活躍することを目指し、海外の企業や支社、NGO、公的機関、地方自治体、国際機関などでインターンとして実習経験を積み、国際キャリアの第一歩を形にしていく

(H23年度参加者数)

宇都宮大学5名、白鷗大学3名、
外2大学8名、社会人1名、計17名

(H23年度実習先)

モンゴル人文大学、ネパール生態文化研究所、ルワンダの教育を支える会、外3機関、計6機関

栃木県における外国人留学生の就職に関する状況

以下、24スライドまでは、県内外国人留学生及び県内企業に対するアンケート調査、ヒヤリング調査結果からの抜粋。地方圏における外国人留学生のキャリアデザインと企業のグローバル化の視点から実施したもの

出所；末廣啓子(2012)

「留学生の日本での就職を阻害する要因に関する研究－キャリアデザインの視点から－」科学研究費補助金研究成果報告書」

留学生の価値観

留学生が非常に大切だと思う考え
(N=219 複数回答、抜粋)

項目名	非常に大切 と思う人の割合
1 家族と幸せに暮らしたい	63.9
2 家族を豊かにしたい	54.8
3 安定した生活を送りたい	46.1
4 得意なことや好きなことを 追求したい	43.4
5 毎日を気楽に暮らしたい	42.9
6 母国や地域の発展に貢献した い	38.8
7 社会に貢献したい	37
8 収入や財産を増やしたい	34.2
9 母国との架け橋になりたい	33.3
10 出世したい	26.9
11 挑戦の多い人生を送りたい	25.6
12 周囲の人から尊敬されたい	23.7

新入社員の働く目的（一番近いもの
を選択、抜粋 平成22年4月入社
者対象 日本生産性本部調べ
N=1980*）

項目名	割合
1 楽しい生活をしたい	36.1%
2 経済的にゆたかな生活を おくりたい	20.2%
3 自分の能力をためす 生き方をしたい	17.5%
4 社会のために役に立ちたい	15.5%
5 社会的にえらくなりたい	3.2%
6 別にこれという目的もなく、 日々呑気にやっていきたい	1.4%
7 世の中に背を向けても、自分な りに生きたい	1.2%
8 自分のことは考えず、企業の発 展のためにつくしたい	0.6%

*同調査より、学部：大学院が本調査と同率に調整し算出

留学前後における自分の将来の キャリアプランについて

留学前後でのキャリアプランの有無や変化；

「考えない」から「考えた」という方向へ、日本滞在を選択する方向へ、変化をしたものが多い。

理由：多く挙げられたのは、「日本でもっと生活したい、成長したい」といった内容。日本への愛着を感じて、滞在を延長したくなったというものと留学生活の中で学んだ力や知識等を発展、応用させたいというものである。

- ・思ったより暮らしやすい、日本(人)が好きになった
- ・さらに多くの経験をしたい、もっと勉強したい

- ・自己の成長や自立感の体験
- ・経済情勢、家族要因（留学生のキャリアプランに大きな影響）
- ・母国の事情がわからない、
- ・一からの出発になるという帰国後の不安が挙げられている。

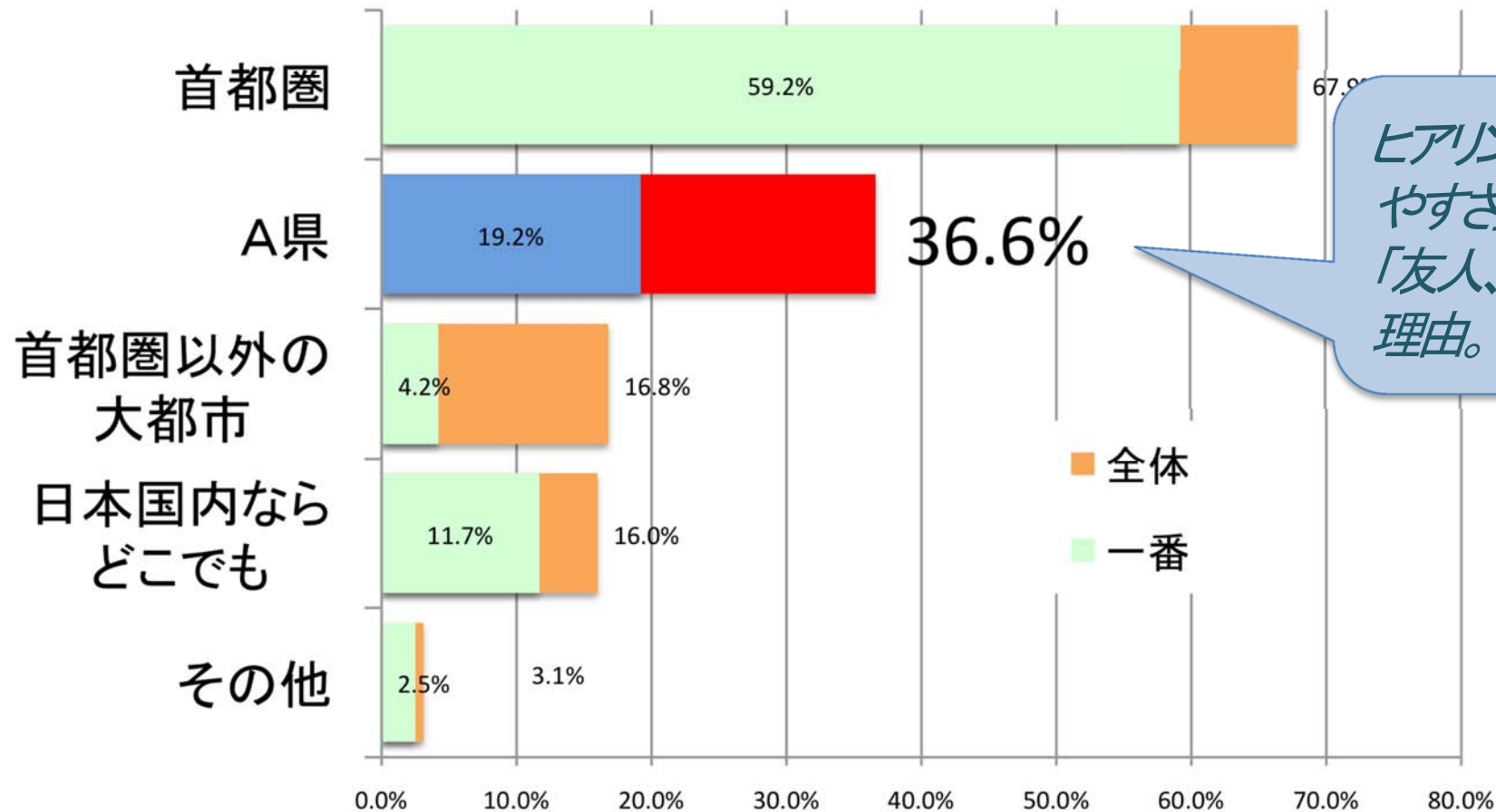
若くして来日している留学生にとって母国と日本との間の立ち位置すら決め難く、ライフプラン・キャリアプランも定まり難い状況にあるといえる。

日本での就職希望

N=219	人数	割合 (%)
希望している	119	54.3
現在は希望していないが以前は就職活動をして いた	12	5.5
希望していない	78	35.6
その他	9	4.1
不明	1	0.5
合 計	219	100.0

日本での就職希望者

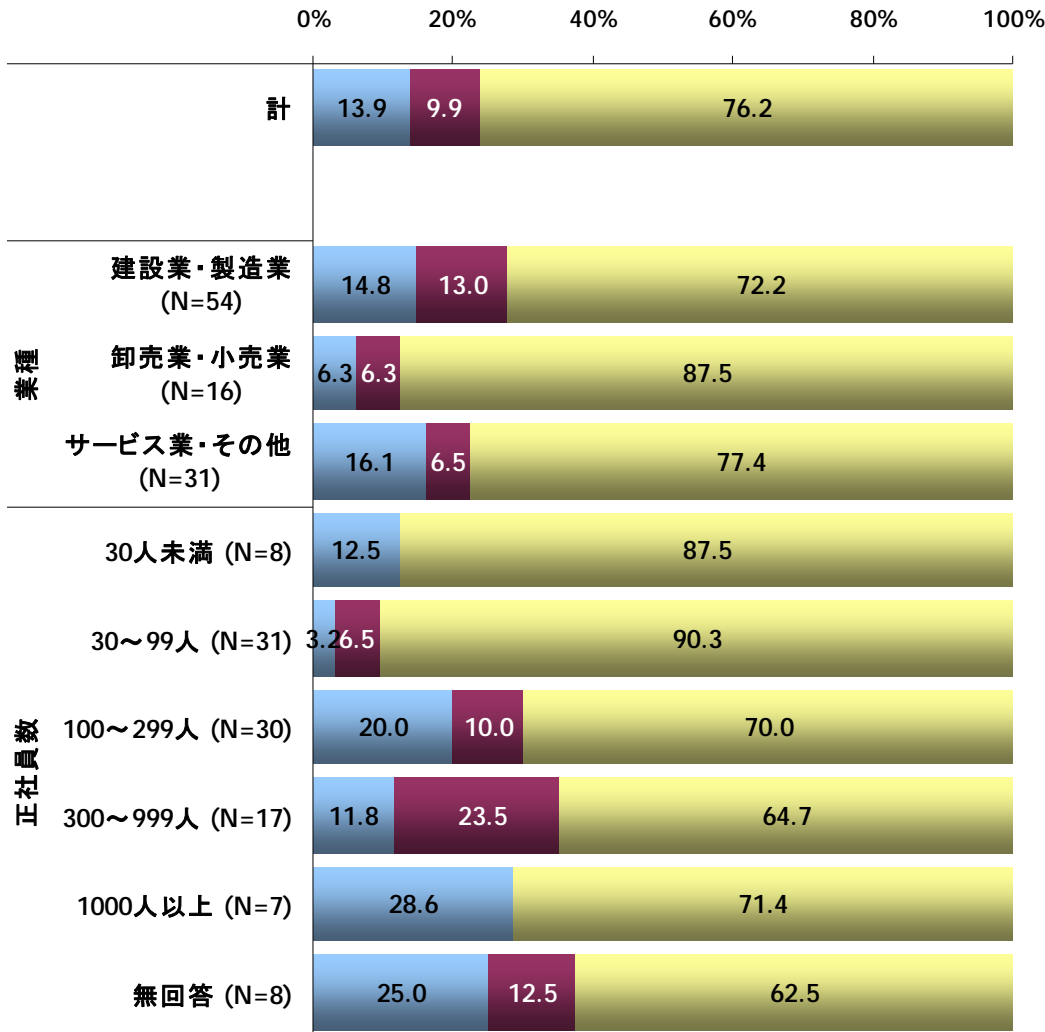
日本で就職を希望する学生の希望勤務地(N=88)



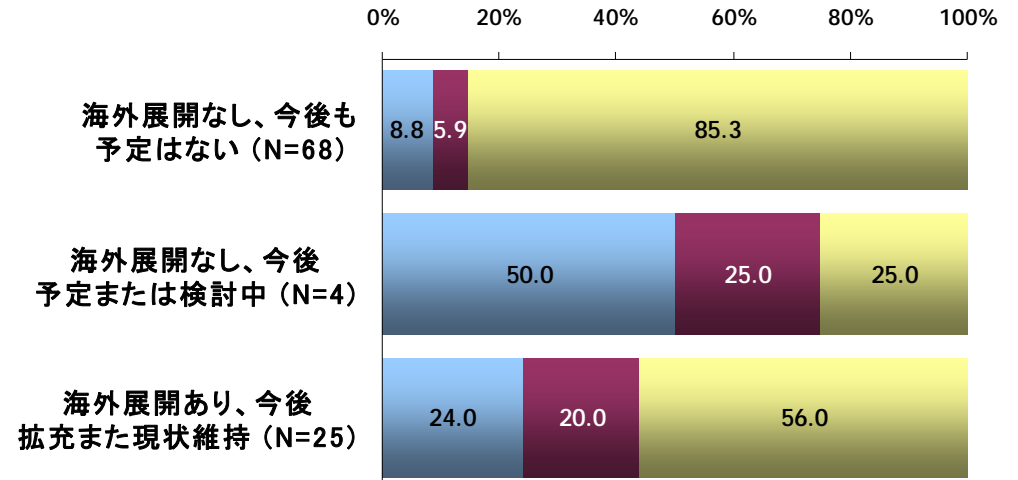
ヒアリングでは、「暮らしやすさ」、人の優しさ、「友人、知人」などが、理由。

採用状況

■ 過去3年間の外国人留学生の採用の有無 (N=101)



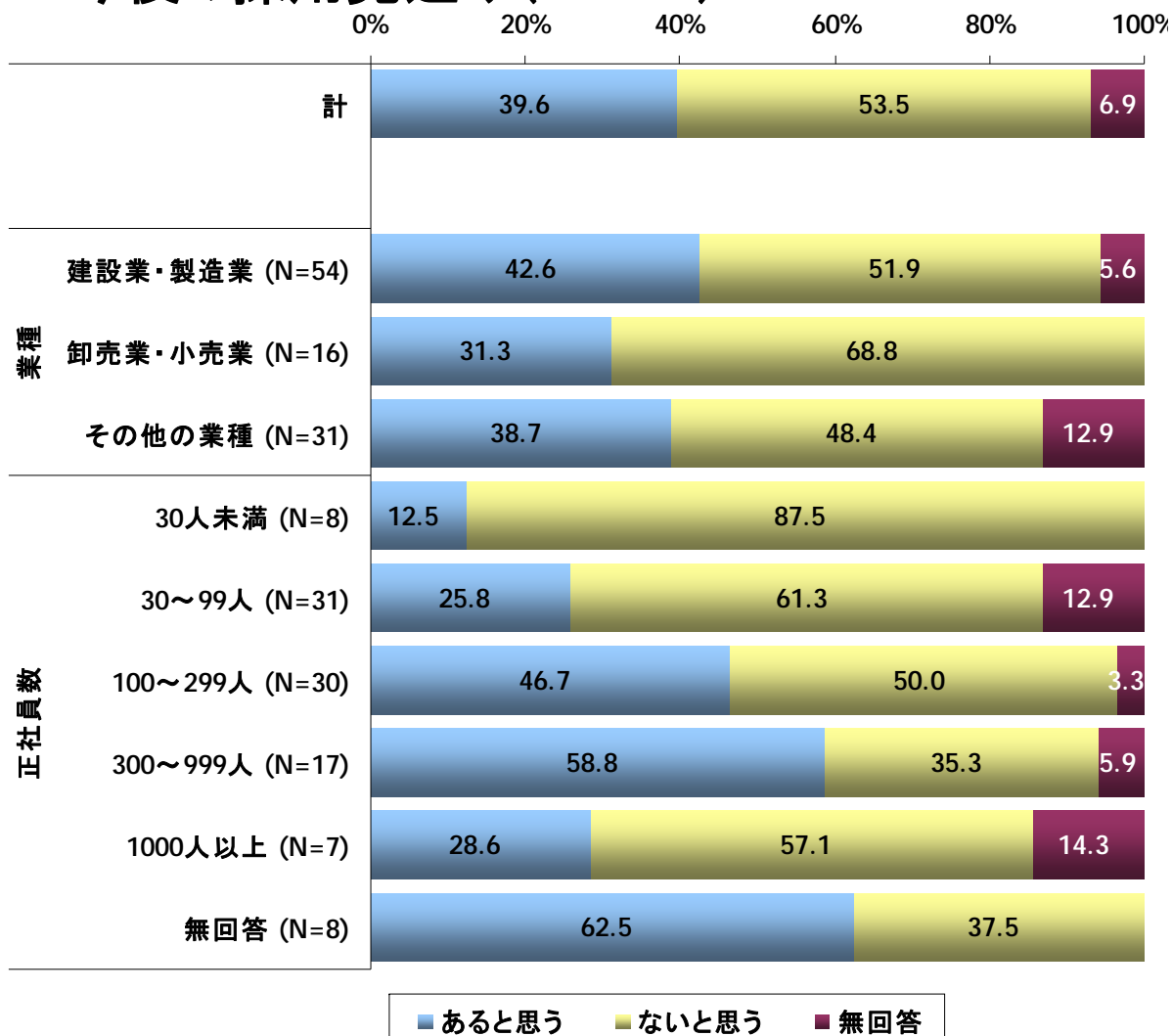
■ 海外展開の状況別にみた外国人留学生の採用の有無 (N=97 無回答を除く)



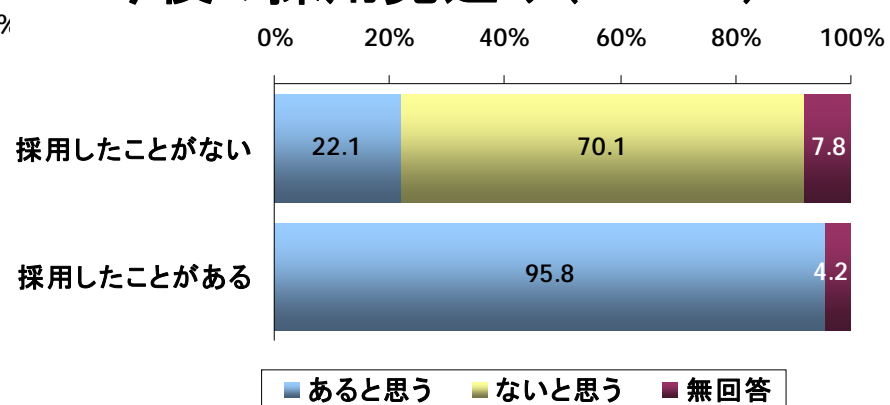
- 過去3年間で採用したことがある
- 過去3年間では採用しなかったが、それ以前に採用したことがある
- 過去に一度も採用したことがない

採用見込み

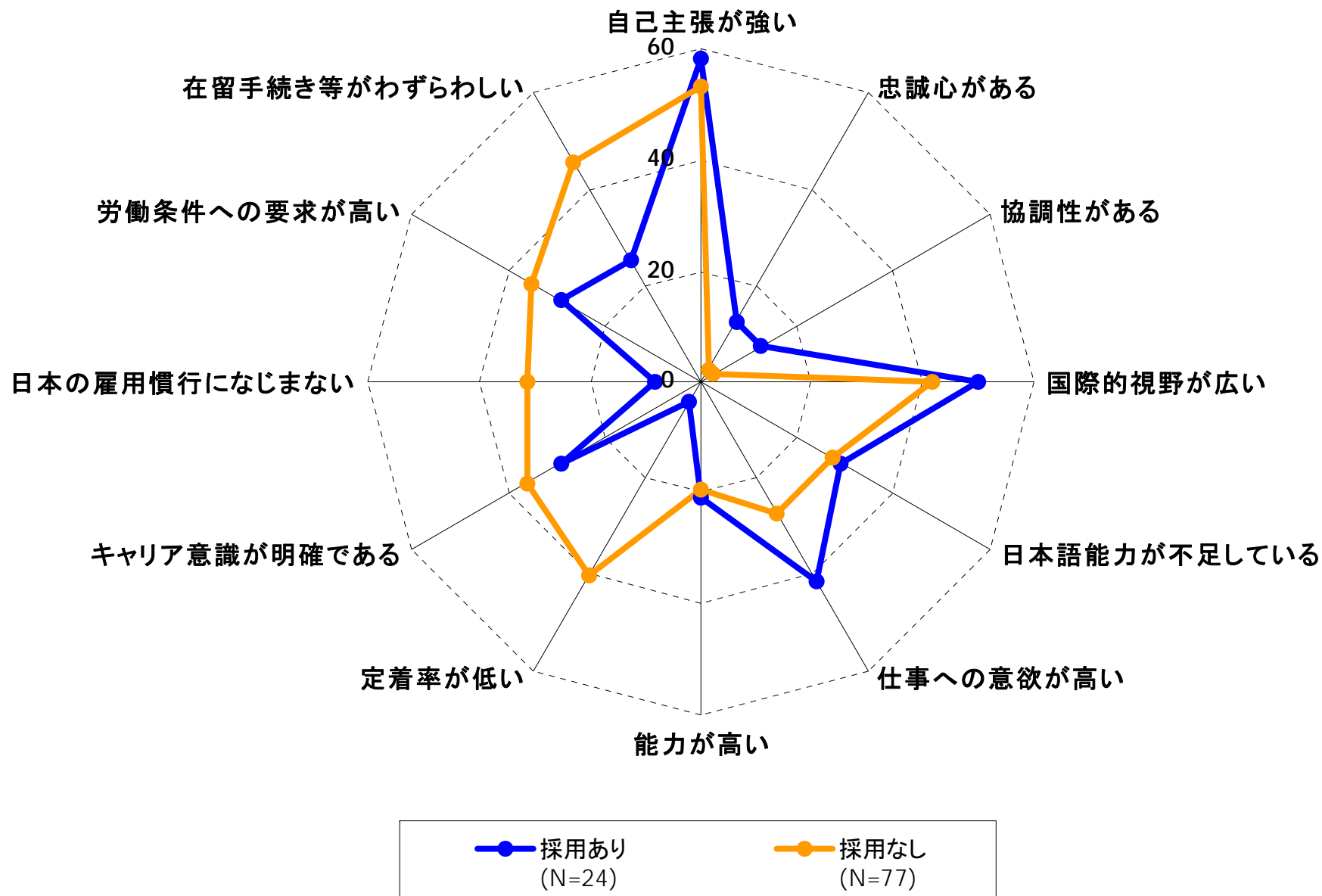
■外国人留学生の
今後の採用見込み (N=101)



■採用経験別の外国人留学生の
今後の採用見込み (N=101)



留学生へのネガティブなイメージ



高度外国人材の日本企業就職促進プロジェクトの概要

<実施内容>

◆地域協議会の開催

大学・事業主・事業主団体・関係行政機関が参画し、事業の実施内容や実施計画を検討する。また事業結果の取りまとめを行う。

◆企業向け就職説明会・留学生向け就職説明会

留学生を採用したいと考えている企業、日本で就職したいと考えている留学生、それぞれに対し、説明会を実施する。

◆合同企業説明会

留学生を採用したいと考えている企業を参集し、留学生向けの会社説明会を開催する。

◆インターンシップの実施

インターンシップに参加を希望する企業及び学生を募集し、ガイダンスの実施、マッチングなどを行う。

◆フォローアップ

当事業にて実施した地域の留学生就職支援に関する事業についての活動実績の取りまとめ。

■ 企業向け就職説明会の開催

〈日時〉 平成24年10月2日(火) 14:00～17:00

〈主催〉 栃木県留学生就職支援協議会

〈会場〉 ホテル ニューイタヤ 蓬莱の間(南館3階)

14:00～14:10	ご挨拶	栃木労働局職業安定部 職業安定部長 蛇走 喜彦 氏
14:10～14:40	栃木県における留学生の就職について ～外国人留学生の就職をめぐる留学生と 企業の実態と意識に関する調査結果 から見えるもの～	栃木県留学生就職支援協議会 委員長 宇都宮大学キャリア教育・就職支援センター 副センター長 末廣 啓子 氏
14:40～15:10	外国人留学生の採用および雇用事例報告	マニー株式会社 執行役副社長 CFO 高井 壽秀 氏
～休憩10分～		
15:20～15:40	留学生から見た日本企業への 就職活動について	フタバ食品株式会社 企画部 王 奕文 氏
15:40～16:00		株式会社足利銀行 市場国際部 廣田 美帆(刘璠) 氏
16:00～16:40	外国人留学生のビザ手続き方法と 雇用に関する留意点	行政書士 桑田優事務所 桑田 優 氏
16:40～16:50	質疑応答	
16:50～17:00	事務連絡	

■ 留学生向け就職説明会の開催

〈日時〉平成24年11月13日(火) 16:15~18:15

〈主催〉栃木県留学生就職支援協議会

〈会場〉宇都宮大学 基盤教育B棟1121教室

〈後援〉大学コンソーシアムとちぎ

16:15~16:30	留学生の就職状況と内定獲得への心がまえ	株式会社オリジネーター 取締役 専務執行役員 工藤 尚美 氏
16:30~16:50	企業が求める留学生人材像	株式会社IDX 総務・経理部長 貞弘 司 氏
16:50~17:10		メルテックス株式会社 管理部 総務課 採用担当 清水 宏紀 氏
~休憩5分~		
17:15~17:35	就職成功への秘訣	足利工業大学 卒業生 日光金属株式会社 八 十三 氏
17:35~17:55		宇都宮大学 卒業生 株式会社足利銀行 廣田 美帆(刘璠) 氏
17:55~18:10	質疑応答・意見交換	
18:10~18:15	事務連絡	

■ インターンシップ

〈実施〉

栃木県内企業3社、留学生 実施済み4名(実施予定2名)

〈受入れ先企業業種〉 商社、ホテル、食品メーカー

〈参加留学生〉 宇都宮大学、宇都宮共和大学

合同企業説明会

〈主催〉 栃木県留学生就職支援協議会

〈日時〉 平成25年1月23日(水)

〈後援〉 栃木労働局・大学コンソーシアムとちぎ

〈プログラム〉 第一部 合同説明会(ブース形式)

時間: 13:00~16:00

場所: 宇都宮大学 大学会館内 多目的ホール

第二部 本音で語ろう!企業との交流会

時間: 16:00~17:00

場所: 宇都宮大学 大学会館1階

カフェテリアフードプラザ

〈対象者〉 栃木県内在住、在学の大学生・大学院生・短大生・
高等専門学校生・専門学校生・日本語学校生等。
全ての学年の学生が対象。

〈説明会内容〉 ・県内企業ブースによる面談 15社程度

・就職相談コーナーブースの設置

・新卒応援ハローワーク

・行政書士による在留資格相談コーナーの設置

〈交流会内容〉 企業人事担当者と留学生の交流会

「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」 (24年度～文科省採択事業)

グローバル化に対応したキャリア開発科目の高次化とインターンシップの高次化

目指す人材育成像

語学・コミュニケーション能力、社会人基礎力、異文化理解・活用力を備え

- ①国際的な場で創造的にチャレンジ精神を発揮し、地域社会・経済の発展に寄与する人材
- ②日本の良さを理解し、地域経済や母国の経済発展に寄与する人材(主に外国からの留学生)



産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化

グローバル化に対応した、産学官連携によるキャリア教育の開発と実施

(「企業のグローバル戦略とキャリア形成」など)

企業等

公益社団法人
栃木県経済同友会

講師推薦・派遣

- **キャリア教育の拡充**
キャリア教育科目の高次化
キャリアフェスティバルの拡充、等
(前掲参照)

- **国際キャリア開発プログラムの拡充**
(前掲参照)

国際インターンシップの実施

地域の産業界との連携（公益社団法人栃木県経済同友会等との連携）によって「国際インターンシップ」を全学レベルで拡充実施

国際的な現場における語学力、コミュニケーション能力、異文化理解、専門知識などグローバル人材に必要な応用的能力開発を実現させる。

具体的には、フィリピン、タイ、インドネシア、バングラデシュなどにある栃木県内に拠点を持つ経済同友会会員の日系企業やその工場、タイ、インドネシア、バングラデシュ、スリランカにあるNGOの研修機関に学生を派遣（2週間程度、事前/事後研修の実施 25年2月～実施）

グローバル人材育成プログラム

国際化の進展に伴う産業界や地域社会のニーズに対応し、専門的知識に加え、英語運用力や異文化社会及びグローバルな共生社会への知識を深め、国際的なフィールドでの実践力を身につけることを目指す

・対象学生 学部生

・修了要件

区分ごとに指定された授業科目から、必要単位以上を選択して履修し、30単位以上を修得し、かつ以下の条件を満たすこと

一般 TOEIC 650点以上

マイスター TOEIC750点以上であり、本副専攻のGPA2.8以上

修了した者には、卒業時に「グローバル人材育成プログラム
修了証書」を発行